

平成30年度

第1回滝沢市文化財調査委員会議 会議録

■会議録作成概要

- 1 件 名 平成30年度第1回滝沢市文化財調査委員会議
- 2 会議期日 平成30年7月25日（水）
- 3 会議場所 滝沢市役所 4階中会議室
- 4 署 名 人 委員長 光井文行
委 員 平塚 明（会議録署名委員）



岩手県滝沢市

会 議 録

- 1 件 名 平成30年度第1回滝沢市文化財調査委員会議
2 日 時 平成30年7月25日(水) 16時15分～17時00分
(※現地調査：14時00分から16時00分)
3 場 所 滝沢市役所4階 中会議室
4 委 員 委員5人中4人出席

No	区分	委員名	専門分野	委員就任	出欠	備考
1	委員	光井 文行	考古	H24. 4. 1～	出席	
2	委員	大石 泰夫	民俗	H26. 4. 1～	出席	
3	委員	平塚 明	植物	H28. 4. 1～	出席	
4	委員	越谷 信	地質	H29. 4. 1～	欠席	
5	委員	上白石 実	歴史	H30. 4. 1～	出席	新委員

5 説明等のために出席した者

長嶺 敏彦 滝沢市教育委員会教育次長
小野 雅悌 滝沢市教育委員会事務局文化振興課 課長
菊池 睦子 滝沢市教育委員会事務局文化振興課 総括主査
井上 雅孝 滝沢市教育委員会事務局文化振興課 主任主査
瀬川 光 滝沢市教育委員会事務局文化振興課 主査

6 傍聴人 なし

7 次第

開会

- (1) 教育長挨拶
- (2) 会議録署名委員の指名について
- (3) 協議

議案第1号 委員長及び副委員長の選出について

報告第1号 平成30年度滝沢市文化財事業の進捗状況について

報告第2号 指定文化財案件の対応について

- (4) 諸連絡

閉会

会 議 録

【会議内容】 進行：(事務局) 小野雅悌 文化振興課長

発言者	内容
(事務局) 小野課長	<p>本日の会議は、委員5人中4人のご出席を頂いております。</p> <p>滝沢市文化財調査委員会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しておりますので、本日の会議が成立することをご報告申し上げます。それでは、ただ今から、平成30年度第1回滝沢市文化財調査委員会議を開催いたします。</p> <p>はじめに教育長からご挨拶申し上げます。</p>
(事務局) 長嶺教育次長 教育長挨拶 代読	<p>(1) 教育長挨拶</p> <p>本日、熊谷教育長が欠席のため挨拶を預かっておりますので代読いたします。</p> <p>滝沢市文化財調査委員会議開催にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。</p> <p>このたびは4月から上白石実先生を委員としてお迎えしております。上白石先生、どうぞよろしく申し上げます。また、委員各位におかれましても引き続きよろしくお願いたします。</p> <p>さて、昨年12月8日に開催された国の文化審議会の第一次答申を受け、平成31年4月1日施行の改正文化財保護法の概要が示されました。改正の趣旨では「文化財の滅失、散逸等の防止、また未指定の文化財を含めた文化財をまちづくりに活かしつつ、地域総がかりで継承に取り組み、文化財保護行政の強化を図る」と明記されています。</p> <p>市でも、文化財掘り起しによるカワシンジュガイ生息調査や民具等の民俗資料の移転管理、また、3月に刊行した郷土史「滝沢市の歩み」を活用した歴史講座による郷土理解等、地域文化財の保存と活用について、ハードとソフト両面から取り組んでいるところでございます。</p> <p>今後は、都道府県レベルで文化財施策大綱が定められ、文化財保護制度も見直されることが想定されますことから、そうした動きにも注視しながら近隣自治体や関係部局とも情報共有を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>どうぞよろしく申し上げます。</p>
(事務局) 小野課長	<p>4月から委員に上白石先生をお迎えしております。</p> <p>今年度第1回目の会議でございますので、改めて委員の皆様のご紹介と、4月から新しい体制になりました教育委員会事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>資料の表紙の裏面をご覧ください。名簿の順にご紹介します。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">名簿に基づき紹介</p>

会 議 録

発言者	内容
(委員) 大石委員	文化振興課の組織体制について伺います。
(事務局) 小野課長	平成28年度までは現在の生涯学習スポーツ課と文化振興課は「生涯学習文化課」として同じ課の中で業務を行っておりましたが、平成29年度の組織改編で、社会教育施設やスポーツ、教育振興等の生涯学習分野についてが生涯学習スポーツ課に、文化振興課は文化財や芸術祭等の文化振興、また図書館や埋蔵文化財センターの施設を所管し、文化政策に特化した課となっております。
(事務局) 小野課長	(2) 会議録署名委員の指名について 会議録署名委員については、特段、規則等に定めがありませんので、委員の皆さんに順番にお願いしておりました。 前回は大石委員に署名いただいておりますので、今回は、平塚委員にお願いしたいと思っております。
(委員) 平塚委員	承知いたしました。
(事務局) 小野課長	会議録署名は会議録作成後に平塚委員と連絡調整のうえ、対応方法等、署名方法を調整いたします。よろしくお願いたします。
(事務局) 小野課長	議案第1号 委員長及び副委員長の選出について 平成30年4月1日付け委員改選に伴い、委員長と副委員長について選出します。 議事に入ります。資料は6ページです。 議案第1号 委員長と副委員長の選出でございますが、委員の改選に伴う委員長、副委員長の選出ですが、自薦、他薦等、選任方法についてご意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。
(委員)	事務局案はいかがでしょう。
(事務局) 小野課長	ただいま、事務局案ということで提案いただきましたので、事務局案といたしましては、委員の任期期間4期の光井委員を委員長に、委員期間3期の大石委員を副委員長にお願いしたいと考えております。

会 議 録

発言者	内容
(委員)	異議なし。
(事務局) 小野課長	ありがとうございます。委員長に光井文行委員、副委員長に大石泰夫委員が選任されました。よろしくお願いします。 ここで光井委員長から一言お願いします。
(委員長) 光井委員長	ただいま委員長を仰せつかった光井です。 私が委員になってから委員長は名久井委員長さん、それから土井委員長さん、四井委員長さんということで、名久井先生からは 委員を辞められるときに、できるだけ民俗資料にみんなが触れる体験機会を増えたらよいということをおっしゃられておりましたので、展示の方を考えてほしいという話がありまして、現在、教育委員会の方で 旧公民館で展示作業を進めてもらっているところでありますが、是非とも進めてほしいと思います。 また、土井先生は、私たちもフランクな形で専門性を互いに理解をしながら、自由な雰囲気話し合いを進めてほしいとおっしゃっておりましたし、こうした会議もホームページで紹介していますので、市民のみなさんに関われた会議として、文化財の保護と活用について次の世代へ繋げていけるように皆さんと一緒にやっていきたいと思ひます。 どうぞよろしくお願いします。
(副委員長) 大石副委員長	私は名久井先生の後任として委員になったのですが、名久井先生が大変熱心に集められた民具の移転、展示の準備を進めているということで大変結構なことだと思います。 今回副委員長を引き受けるということで、あらためて滝沢市の民俗文化財の取り組みについてもひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。
(委員長) 光井委員長	それでは終了予定時間までに会議を終了したいと思いますので、進行の協力をよろしくお願いします。

会 議 録

発言者	内容
(委員長) 光井委員長	資料は7ページです。 報告第1号 平成30年度滝沢市文化財事業の進捗状況について事務局から説明をお願いします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">事務局から資料に基づき説明</div> ここまでの説明で何か、ご意見あるいはご質問についてございますでしょうか。
(委員) 上白石委員	五竜のフジについて詳細の説明をお願いします。
(事務局) 小野課長	五竜のフジは、湯舟沢の角掛神社にあるフジの木でございますが、5本の大木が竜のような姿を思わせることから五竜のフジと命名されました。老木であります4本の木は成長して花をつけます。維持管理については地元自治会、角掛神社がフジの木を所有していることから、氏子さんが整備されておりますので、定期的に地元自治会や神社の氏子さんと情報共有しながら保存活用について話し合っているところでございます。大木の管理は大変ですので、維持管理や経費についても今後が不安であるという地元の声があったことから情報交換がはじまり、元村地区は8つの自治会があり、一つの自治会だけでとか氏子さんだけということではなく、地域全体で見守ろうという気持ちからの情報交換の場となっております。
(委員長) 光井委員長	地域全体の宝ということで氏子さんだけではなく、地域全体で進めるということは大切なことですね。 文化財関係の方で今、民具の移転作業を進めていますが、将来の見通しとしたら、今年作業を行い、生徒が見たり活用出来るのは来年度になるのでしょうか。
(事務局) 瀬川主査	昨年度から民具類や収蔵棚の移転作業を進めており、現在は民具類の移転は全て完了しております。 上半期中に収蔵棚の再組立てを行い、分類毎に収蔵する準備を整え、下半期には棚配置を決めて、分類別収蔵や説明表示の作成を行い、年度内には民具の収蔵整理を完了して、来年度以降に学習機会の求めに応じて民俗資料を見て触れることができる民具保管庫として活用できるよう作業を進める予定です。

会 議 録

発言者	内容
(委員長) 光井委員長	本年度は準備を行って、早ければ来年度以降に滝沢市の子ども達にも体験、民具類を見ることができる状況に進めていくということです。
(委員長) 光井委員長	埋蔵文化財の関係についてですが、埋蔵文化財講座ですが、去年、12世紀の平泉、世界遺産平泉と、滝沢のものも含めてですが、参加された方は「講座とてもよかったです」と言っていました。 また、そういうのがあったらまた来たいとおっしゃっていましたし、わかりやすいし、時代を設定して、滝沢の遺跡をからめながら、また、なおかつ、地元の研究者達の発表する形が具体的にわかりやすかったので、また今度もそうした形で企画していただけたらと思います。
(事務局) 井上主任主査	具体的にはまだ決定していませんが、そのような感じで検討したいと思っています。
(委員長) 光井委員長	希望としては、事務局の考えもあると思いますが、古墳から古代あたりの北からと南からの文化あたりも滝沢もいいところで目立つ所なので、そのあたりも含めて考えていただけたらと思います。 他にありますか。
(委員)	なし
(委員長) 光井委員長	続きまして報告第2号 指定文化財案件の対応について事務局から説明をお願いします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">資料に基づき説明</div>
(委員長) 光井委員長	ただいま事務局から説明のありました、カワシンジュガイ生息調査についてと、滝沢市指定文化財の新規候補案件届出書について、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。
(委員) 平塚委員	カワシンジュガイですが、今年が文化財掘り起し事業の最終年度で、来年度以降に指定調書の作成となります。案件によってまちまちだと思うのですが、どういった計画になるのでしょうか。

会 議 録

発言者	内容
(事務局) 井上主任主査	天然記念物の調査はだいたい3年かかります。今年で調査は2年目ですので、来年度まで調査を行って再来年報告書ということで、余裕をもって考えており、報告書の提出をもって、その後に指定調書作成という流れです。
(委員) 平塚委員	指定までのフローですが、調書作成以降の④、⑤、⑥、⑦は一般にどのくらいの期間がかかるものでしょうか。
(事務局) 井上主任主査	1年で終わります。調査して、報告・調書作成までが時間がかかりますので、必要な調書が出来ましたら、諮問、答申まで期間を置かず進めることができます。
(委員) 平塚委員	<p>カワシンジュガイについては、渡辺先生の調査で、データも実情も、だいぶ明らかになり、県下でも最大規模の集団であることがわかりました。それでも滝沢市内の河川状況調査としては、まだ終えていない所もあるということですね。</p> <p>気になっているのは資料の案件届出の順番で、カワシンジュガイよりゴマシジミの方が先に掘り起し案件の届出がなされています。率直に言って、リスクの高さから言うと圧倒的にゴマシジミです。</p> <p>郷土史「滝沢市の歩み」の中に、生育地が地名として出ています。滝沢市では春子谷地と岩手牧場内の小湿地に見られると。ゴマシジミについて優先して手を打った方が、保全という意味でもよいと思います。もちろん岩手県のAランクの指定にかかっていますが、滝沢市としても順番があると思います。もし出来るのであれば、現状について教えていただきたいと思います。</p>
(事務局) 井上主任主査	片山先生と事務局が調査に行った時もありますが、若干確認はしているんですが、どれがゴマシジミかわからないことがあった。
(委員) 平塚委員	<p>信州大学の資料では生息場所は完全に伏せています。レッドリストに挙げられてからではむやみに植生はいじれません。</p> <p>ゴマシジミの現状を知りたいというのが率直な気持ちです。</p>

会 議 録

発言者	内容
(委員長) 光井委員長	ゴマシジミが緊急的であるというようなご意見がだされましたが、教育委員会としては、今の話しを受けて検討いただきたいですが、いかがでしょうか。
(事務局) 小野課長	先ほどの説明のとおり3年間はカワシンジュガイの調査を行いますので、その後の報告を受けて結論を取りまとめを終えた後に、ゴマシジミの調査に移行するということも考えられます。 次の調査案件は委員会で協議いただくこととなりますが、まずはカワシンジュガイ調査終了後に目途がつかましたら次の案件を検討するという方向性です。
(委員長) 光井委員長	ゴマシジミの方も早急に検討いただき、方向性を示していただければと思います。 ほかにございますか。
(委員) 大石委員	一つ目ですが、指定掘り起しのリストに民俗文化財が2件届出がありますが、これもカワシンジュガイのように3年など複数年時間がかかって指定調書という流れになるのか。 また、台帳記載の段階では良いのかもしれませんが、名称として、台帳そのままを指定の名称に使用するのか。 例えば青森ねぶたを青森「市」ねぶたとは言わないですね。 ですから、滝沢「市」さんさ踊りについても名称に「市」がついているので、文化財でそうした芸能名称は、まずあまり聞いたことが無い。 台帳に載せる段階でどうなのか。届け出た方の申請書の内容にならって台帳に載せるなら、そのままの名称でそうなるのだとは思いますが、指定のときに、果たしてそのままで良いのか等、考え方を統一しておいた方が良いでしょうと思います。
(委員長) 光井委員長	ただいま大石委員から民俗文化財の掘り起し調査から諮問までの期間についてと、届け出文化財の名称についてのご意見がありました。この2点について事務局から説明をお願いします。
事務局 井上主任主査	大きい調査はしなくてもよいと思います。

会 議 録

発言者	内容
(委員) 大石委員	<p>そうですね。</p> <p>実際には民俗芸能の活動をされている人も大勢いるので、指定はどうなっているのかと聞かれたときに、こちらの方も形は明確にしておいた方がよい。</p> <p>県指定なんかもそうですね。リストがあって委員が選んで調書を書いて指定されますから、リストの中から選んで、それで調書を書いて指定に持っていくという流れも悪くないと思います。</p> <p>ただ、問題は、このさんさ踊り、単独の地域では指定は難しいし、またそうなった時に、今までずっと「滝沢市さんさ踊り」という形でグループでやってきたものをどう考えるのか。そういう問題もあると思います。</p>
(事務局) 井上主任主査	<p>できれば、ほかの掘り起しと平行して指定調書の作成までもっていったらと思っていますし、また、カワシンジュガイについては、少し時間がかかっているのは、これまで細かい調査をしていなかったことでもあります。河川工事と関わってきました、生息地等の調査もきちんとしなければならぬということ、ゴマシジミについては生息地が特定出来れば、意外に早めに指定調書作成まで持って行けると思います。カワシンジュガイについては、河川工事とのからみもありますので、しばらく調査には時間をかけさせていただきたいと思います。</p>
(委員長) 光井委員長	<p>民俗文化財の名称の方はいかがですか。</p>
(事務局) 井上主任主査	<p>名称の方ですが、台帳の段階では「市」が入っていても申請団体名がその通りですから問題ないと思います。ただ、実際に指定となれば事前の調整も必要と思いますが、「滝沢さんさ」になることも事前の段階で調整、共有する必要があると思っています。</p>
(委員長) 光井委員長	<p>民俗文化財の指定名称については、指定するまでの段階の中で、調整を図るという形で進めていくということでございます。</p>

会 議 録

発言者	内容
(委員長) 光井委員長	ほかにご意見、ご質問等はございますでしょうか。
(委員)	なし。
(委員長) 光井委員長	それでは議事はここまでということで、閉じさせていただきます。 進行協力ありがとうございました。事務局にお返しいたします。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">事務局から諸連絡</div>
(事務局) 小野課長	これをもちまして、平成30年度第1回滝沢市文化財調査委員会議 を終了します。

会議終了 17:00